

- ◆企画名 2019年度 関西大学ピア・コミュニティ夏合宿並びに上半期報告会
- 日程 2019年9月19日(木)～9月20日(金)
- 場所 関西大学セミナーハウス高岳館、千里山キャンパス ソシオ AV 大ホール
- 参加者数 夏合宿：34名(ピア・サポータ17名、研修生12名、教職員5名)
 報告会：78名(ピア・サポータ31名、研修生22名、一般学生1名、学生支援室TA1名、ボランティアセンター学生スタッフ12名、教職員11名)

目的

- ・ピア・コミュニティの枠を超えて交流することで、ピア・サポータ同士の絆を深め、同じピア・サポート活動を行う仲間であることを感じてもらい、今後のコミュニティ間の連携を促進する。
- ・春学期の各コミュニティの活動状況の報告と、秋学期に向けた実施計画の発信を行い、お互いの活動を労う機会とする。

内容

【夏合宿】

- ・アイスブレイク
- ・本部ワーク「プレゼン講座」
- ・ピア・コミュニティ全体レクリエーション
- ・職員より「ピア・コミュニティの現状および今後について」

【報告会】

- ・各コミュニティの春学期活動報告と秋学期の実施計画の発信
- ・シニア・サポータの認証式
- ・座談会 ファシリテーター：越前屋俵太氏(学生PRチームSUGaOアドバイザー)



効果

- ・夏合宿のレクリエーションでは、ピア・コミュニティ全体で1つのゲームを行うことで、ピア・サポータ間のコミュニケーションを促進することができた。
- ・報告会では、他コミュニティの活動を知る機会となり、また活動報告の内容から成功体験や反省点等の共有ができて、そこから新たな気づきを得ることもできた。
- ・シニア・サポータの認証式は、今回初めて行われ、今後シニア・サポータを目指すピア・サポータたちのモチベーションにつながった。

改善点

- ・夏合宿に関して、参加者に対する持ち物の連絡やタイムテーブルの共有が前日になってしまい、もっと早く連絡してほしいという意見があった。担当者が忘れていたことで連絡が遅くなってしまったので、途中経過をコミュニティ全体で確認することを徹底する。
- ・レクリエーションについて、担当者の都合がつかずリハーサルを行えなかった。担当者の人数を増やし、必ずリハーサルができる状態を作っておく。
- ・報告会では、一般の参加者が少なかったため、周知の方法や頻度を検討したい。

感想

- ・夏合宿では、交流に重きを置いて企画し、レクリエーションは全体で盛り上がり、アンケートでも、今後も続けてほしいという声があった。ピア・サポータ同士のコミュニケーションのきっかけになっていたら嬉しい。
- ・報告会では、多くのピア・コミュニティのメンバーが集まり、各コミュニティについて知り、また今後のピア・コミュニティについて考える良い機会になった。今後の恒例企画としたい。